

# 飯塚市都市計画マスタープラン

部分改訂

平成30年12月

飯塚市

## 飯塚市都市計画マスタープラン（部分改訂）について

### 1. 飯塚市都市計画マスタープランについて

都市計画マスタープランは、都市構造の将来ビジョンやその実現に向けた土地利用をはじめとする都市づくりの方針を明らかにするもので、都市計画に関する総合的な指針としての役割を果たすものです。

飯塚市では、合併後の一体となった都市づくりに向け、上位計画である「第1次飯塚市総合計画」を踏まえ、第1次総合計画の都市目標像である「人が輝き まちが飛躍する 住みたいまち 住みつづけたいまち」の実現に向け、将来にわたって住み続けることのできる魅力ある都市づくりを進めるための指針として、平成22年4月に「飯塚市都市計画マスタープラン」を策定しました。

その中では、本計画の目指すべき都市づくりの理念として「健やかな暮らしと活力に満ちたまち 飯塚」を基本理念として定めています。都市目標像としては、「豊かな森林・田園の広がる環境の中で、中心拠点や生活圏の中心となる地域に生活利便施設や公共公益施設などが適切に配置され、中心拠点と各地域を公共交通機関で結ぶことにより、都市的サービスの提供を補い合うことで、生活利便性を高める」とし、このコンパクトな都市を実現するため、目指す都市のすがたを環境・暮らし・活力の持続性を高める「拠点連携型の都市」として設定しました。

### 2. 部分改訂に至る背景

#### [卸売市場について]

本市卸売市場は、建設から45年超を経過し、施設の更新・建て替え時期を迎えています。平成30年3月に、「飯塚市地方卸売市場施設整備基本構想」を策定し、本市卸売市場の移転・再整備に向けて、今後の市場に求められる機能を整理し、施設整備の方針を決定しました。これを受けて老朽化による再整備の文言を明記するものであります。

基本構想の中では、新卸売市場は、安全・安心な生鮮品等の安定した供給を支える卸売市場機能の向上、取扱数量の確保、市民に開かれた卸売市場を目指していくこととしています。

#### [鯉田地区について]

都市計画マスタープラン地域別構想鯉田地域のまちづくり方針の中において、市民公園などのレクリエーション施設と住環境が調和し、身近に生活利便施設が整い、多世代が安全・安心して住み続けることのできるまちを目指すこととしています。

その後、平成28年1月に「飯塚市第2次公共施設等のあり方に関する基本方針」が策定され、市内各所に点在する老朽化した運動施設の集約化を図るため、平成30年2月に「飯塚市新体育館建設基本計画」を策定し、スポーツ拠点施設を整備する方針を決定しました。

その中では、だれもが、いつでも、生涯を通じて快適に楽しむことができる多種多様な

スポーツの推進を基本コンセプトに掲げ、スポーツ・レクリエーション拠点の形成を図ることとしています。そのうえで（ア）利便性（イ）安全性（ウ）早期完成性（エ）経済性の項目について、総合的に検討を行い、市民公園健幸スポーツ広場敷に新体育館を整備することとなりました。

この計画を踏まえ、今回都市計画マスタープランに、レクリエーション施設と表記のある市民公園について、スポーツ・レクリエーション拠点と表記を変更することで、鯉田地区が「スポーツ・レクリエーション拠点エリア」であることを明確に位置づけ、市民公園のエリアは、交通利便地域の適性を活かし、市内各所に点在する施設を集約し、自らスポーツを行う運動環境の整備に加え、観覧できる環境整備を進め、スポーツ・レクリエーション拠点エリアを目指します。

### 3. 部分改訂の内容

「飯塚市地方卸売市場施設整備基本構想」の卸売市場老朽化による建替の方針を踏まえ、都市計画マスタープランに、老朽化による施設の再整備の文言追加を行うこととしました。

「スポーツ・レクリエーション拠点エリア」の詳細追加に至る背景を受けて、市民公園エリアの運動施設の整備にあたりスポーツ・レクリエーション拠点エリアの位置を明確に示すこととしました。

（改訂内容）

・(P17) 第1章 飯塚市の現況と課題 3. 現況と課題 3-3 都市施設整備の課題 (5) その他都市施設の整備の整備完了の後ろに施設の老朽化により、再整備を検討していく必要がある旨追記する。

・(P17) 第1章 飯塚市の現況と課題 3. 現況と課題 3-3 都市施設整備の課題 (5) その他都市施設の整備 〈都市づくりで対応すべき課題〉に「◆老朽化による施設の再整備」を追記する。

・(P73) 4. 鯉田地区のまちづくり方針 4-1 地域の現況と主要課題 (3) 公園緑地を活かした定住魅力の強化にスポーツ・レクリエーション拠点エリアの充実を追記する。

《課題》に■スポーツ・レクリエーション拠点エリアの充実を追記する。

・(P76) 4. 鯉田地区のまちづくり方針 4-3 地域のまちづくり方針 (3) 水・緑・歴史のまちづくりに交通利便の特性について及び市内各地の運動施設を集約するエリア並びにスポーツ・レクリエーション拠点エリアを追記する。

・(P77) ■地域別まちづくり方針図にスポーツ・レクリエーション拠点エリアの充実を追記する。

今回の部分改訂については、内容をわかりやすく明確に文言修正を行うもので、飯塚市としての方針はこれまでと変わるものではありません。

#### (4) 上下水道の整備

- 公共下水道は平成19年度末で整備区域内人口が55,108人に達し、総人口(134,077人)に対する公共下水道普及率は41.1%となっています。
- 公共下水道の整備などにより、遠賀川や穂波川では水質の改善が進んでいますが、本流に流れ込む支流河川では依然として水質改善が進まない地点がみられ、水質保全が求められています。

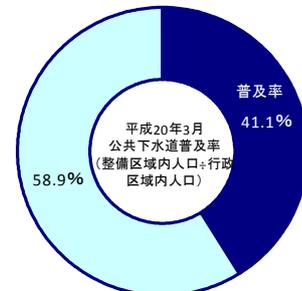
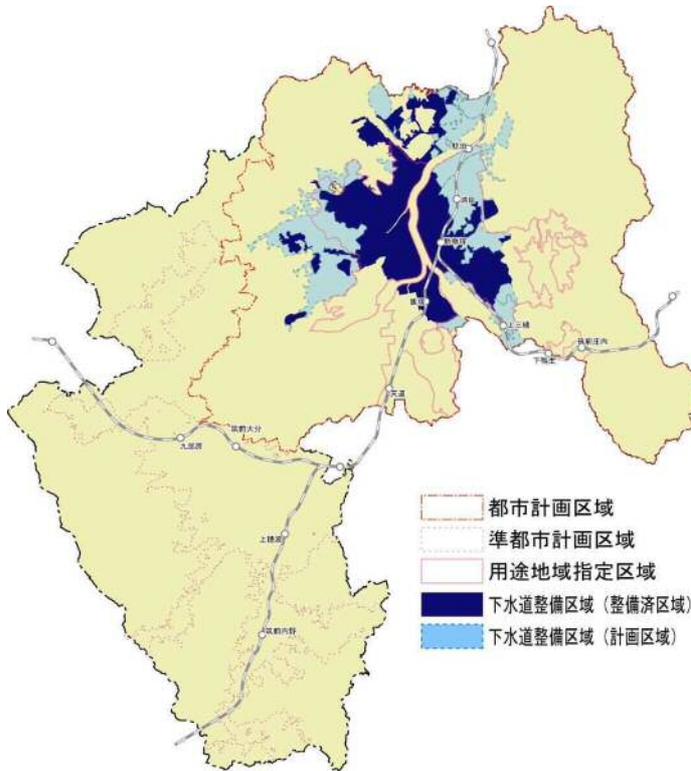


図 下水道整備の進捗  
(飯塚市都市計画課下水道係資料, 平成20年3月)

表 市内河川の水質状況(平成18年8月)

河川名	BOD値	河川名	BOD値
鹿毛馬川	1.8	熊添川	2.8
大城川	1.4	穂波川	1.7
小峠川	3.6	泉河内川	1.2
庄内川	4.1	大分川	0.7
元吉川	2.4	馬敷川	0.5
仁保川	3.2	山口川	0.5
椎の木川	1.2	内住川	1.1
庄司川	2.6	西明星寺川	1.1
遠賀川	2.3	本谷川	0.9
新川	1.8	谷川	0.6
建花寺川	1.9	福ヶ谷川	0.5
大日寺川	2.2	大野川	0.5
相田川	3.8	北明星寺川	2.6
八木山川	1.3	碓川	1.8

※単位: mg/l (飯塚市環境基本計画)  
参考: BOD値の環境基準は3mg/l以下であれば水道の取水が可能(高度な浄水操作を行えば飲める程度)となっている

#### <都市づくりで対応すべき課題>

- ◆農業集落排水施設と連携した効率的な生活排水対策の推進
- ◆支流河川流域における水質改善対策
- ◆上水、雨水の有効利用策の推進

#### (5) その他都市施設の整備

- 現在、都市施設として、ごみ処理場が2ヶ所、霊園、火葬場、卸売市場が各々1ヶ所ずつ都市計画決定されており、いずれも整備完了していますが、施設の老朽化により、再整備を検討していく必要があります。

#### <都市づくりで対応すべき課題>

- ◆将来需要に対応した機能の確保
- ◆周辺土地利用と調和を図るための施設周辺の環境整備
- ◆ごみの減量化、再資源化への対応
- ◆老朽化による施設の再整備

### （3）公園緑地を活かした定住魅力の強化

- 本地域では、近年、人口減少が続いており、多世代が住みたくなるような定住魅力の強化を図ることが課題です。
- 公共下水道が未整備であり、水質の改善を図る上で、生活排水対策が課題となっています。
- 本地域は、JR 福北ゆたか線の沿線上にあり、交通便利地域の適性を活かし、市内各所に点在する施設を集約し、スポーツ・レクリエーション拠点エリアとして充実を図ることが求められています。



市民公園

#### 《課題》

■定住魅力の強化

■公共下水道の計画的な推進

■スポーツ・レクリエーション拠点エリアの充実

### （4）身近な農地や樹林地、河川の保全と活用

- 一般県道鯉田停車場有井線、口の原川島線沿いには、まとまりある農地が広がっており、農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。
- 市街地内には樹林地も多く、また、遠賀川河川敷ではサイクリング、散策などもできることから、良好な水辺や緑を活かして、潤いある環境の形成が求められます。



まとまりある農地

#### 《課題》

■優良農地の保全

■親水性の高い河川環境の創出

■市街地内に残る樹林地の保全・活用

### (3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 遠賀川河川敷を活用し、自然とのふれあいの場として整備・改善を進めます。
- 公共下水道の計画的な整備とともに、浄化槽による排水処理施設の整備を促進します。
- 市民公園のエリアは交通利便施設の適性を活かし、市内全域に点在する体育施設を集約するエリアとしての整備を進めます。
- 自らスポーツ・レクリエーションを楽しむための運動環境の整備に加え、市民が観覧できる環境整備を進めることでスポーツ・レクリエーションの拠点エリアを目指します。



遠賀川河川敷

### (4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制を図ります。
- 幹線道路と鉄道の交差部では、道路拡幅や歩車分離などの交通安全対策、冠水対策の充実に取り組みます。
- 飯塚オートレース場周辺では、住区内への通過車両抑制策を検討していきます。
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。



拡幅された歩道

# ■地域別まちづくり方針図

## 鯉田地域



- 【全体】**
- 用途地域外における市街化進行地区での用途地域の検討
  - 都市計画道路鯉田中線の整備
  - 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
  - 主要な公共施設を結ぶ連続性ある道路の拡幅、歩道の整備
  - 公共下水道の計画的整備、浄化槽による排水処理施設の促進
  - 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知、宅地化の抑制
  - 低未利用地の有効利用方策の検討
  - 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備
  - **スポーツ・レクリエーション拠点エリアの充実**

- 【遠賀川河川敷】**
- 自然とのふれあいの場としての整備・改善

- 【国道200号バイパス北側の住宅地】**
- 鯉田駅周辺での身近な生活利便施設の誘導、適切な駐車・駐輪場の整備
  - 低層のゆとりある住宅地や中高層住宅などで構成される住宅地としての土地利用の推進
  - 通学路、主要な公共施設へアクセスする道路の拡幅、歩道、道路照明灯設置などの整備
  - 良好な樹林地の保全

- 【農地】**
- 優良農地の保全
  - 宅地化の抑制

- 【複合住宅地】**
- 大規模集客施設の立地抑制
  - 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、中高層住宅の適切な誘導

- 【工業地】**
- 企業誘致の推進
  - 周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境の維持

- 【国道200号バイパス南側の住宅地】**
- 良好な居住環境を有する低層住宅地の形成
  - 幹線道路と鉄道の交差部での交通安全対策や冠水対策の推進

- 緑地の保全

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設)	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	その他の都市施設	(主) 主要地方道(名称)
公民館	用途地域	水の軸
		歴史をつなぐ軸(長崎街道)

- 【飯塚オートレース場周辺】**
- 住区内への通過車両抑制策の検討

